

SB2020 横浜会議

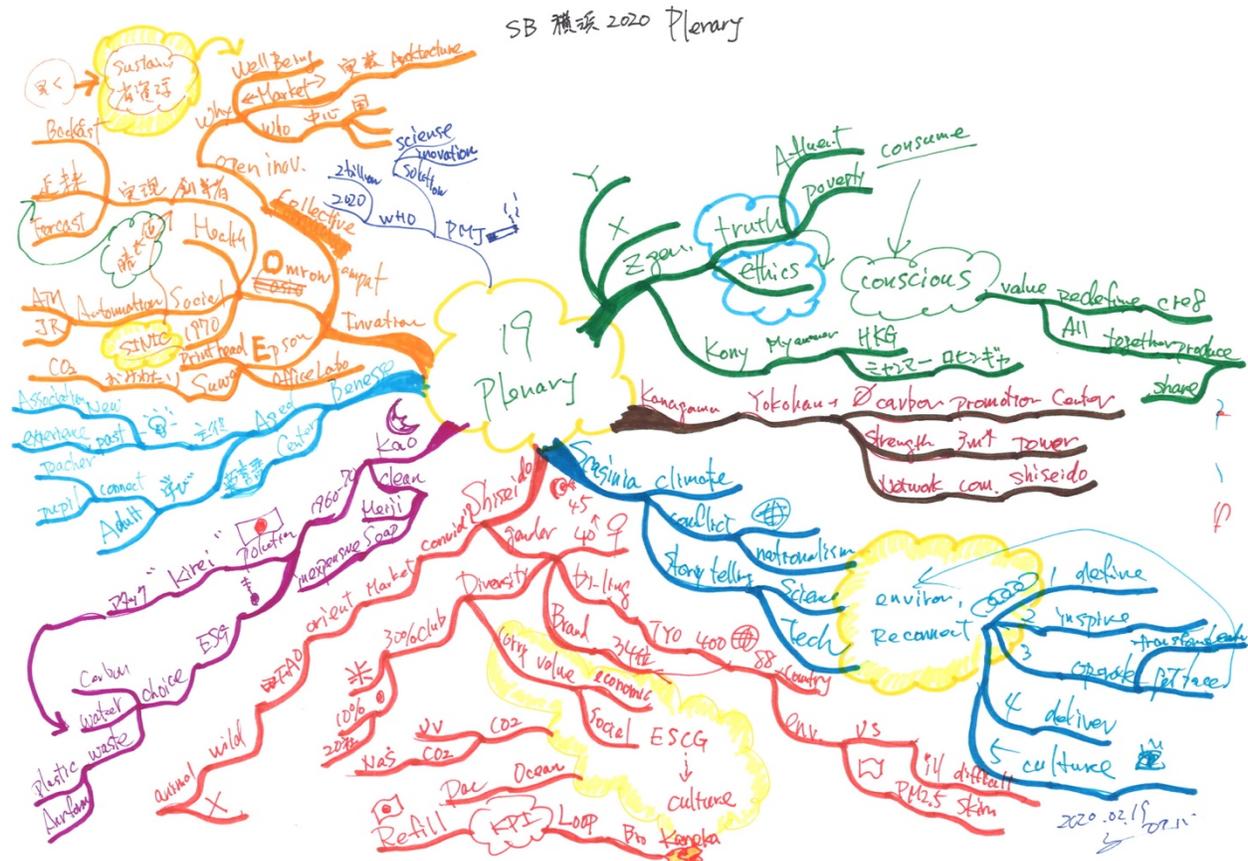
Delivering Good Life
 Defining Good Life
 Re-Defining Good Life

Z世代 情報が混迷している社会で事実と倫理観を大切に格差社会における消費活動をし
 っかりと認識して行動していく。

SDGs 未来都市横浜の紹介 排出ガスゼロセンター 企業との連携

資生堂 女性の構成40%以上で目標は45% イギリスに本部のある30%クラブの会員で日本
 の代表 Gender Equality. 詰め替え商品の開発、啓蒙で海の資源を守る
 花王 ベネッセ、エプソン、オムロンなどスポンサー企業のプレゼン

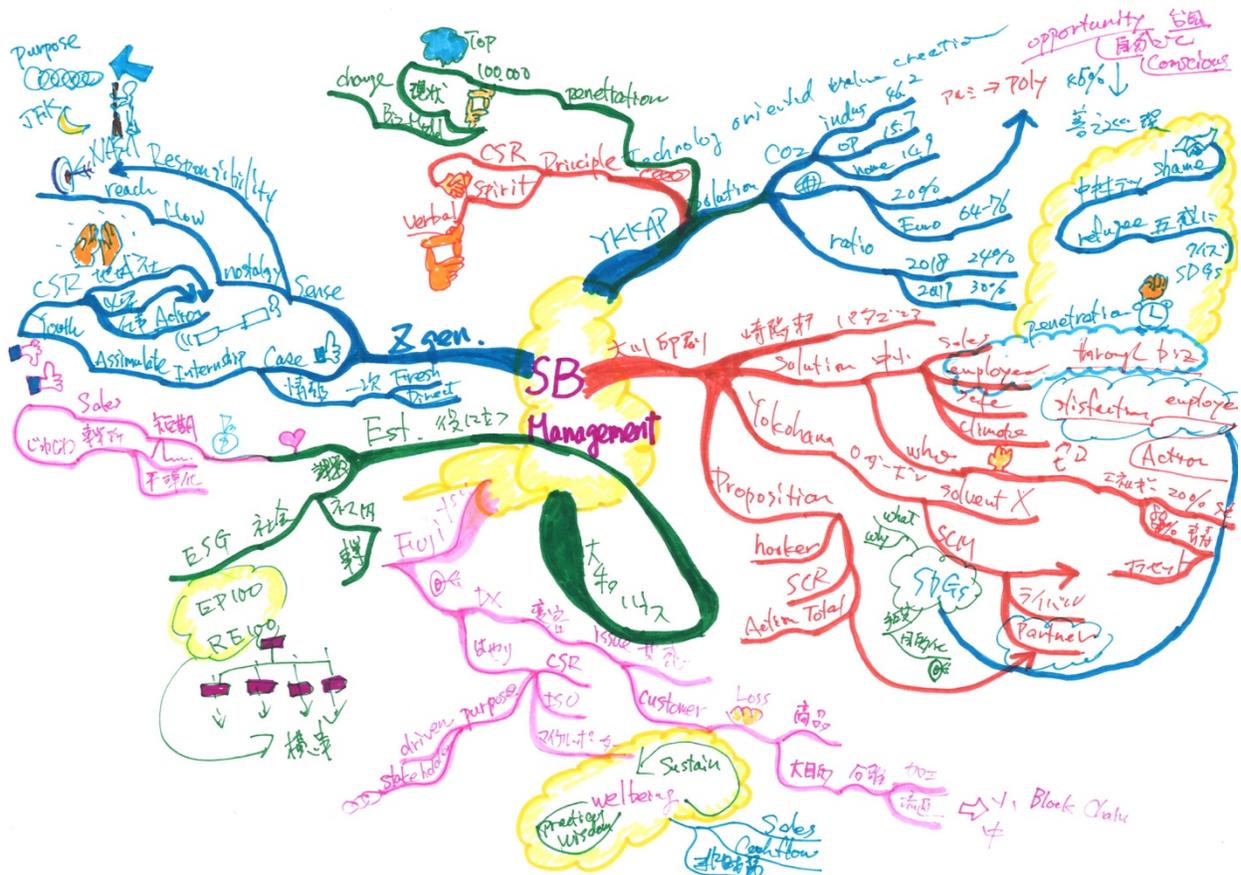
会場自身はSDGs マネジメントや Collective Impact、働きかた改革 (Well-Being) などに参加



【SB マネジメント】

YKKAP、大川印刷、大和ハウス、富士通
 大川印刷 従業員50人以下の中小企業(横浜)、崎陽軒のパッケージ印刷を長年やっている。
 日本青年会議所ではSDGs 先進企業として有名
 文化として社員教育や、企業方針に取り組む姿勢 (SDGs カードなどの作成)

間違いを楽しむ。弁当の購入、何も聞かないで手に持って確認する。カラカラ動くと唐揚げか揚げ物、ずっしりと重いとポテサラ（おはぎと間違えた）これも楽しみ。
資生堂の外見ケア（癌治療をした人の化粧）、チームとして関わることで社会への関わりかたが変わってくる。



【循環オフィス】

オランダの外資系会社 2 社

- 購入過程から循環性を意識 廃棄リサイクル 修理の容易性
- アメリカではカーペットの産業廃棄物が全体に 2 位を占めている。カーペットの修復をするオーガニックな材料を使うことによって、製品寿命を長くしている。これを推進している個人に評価点を与えて賞与の効果材料としている。

アディダス 六本木の事務所出口に常時トートバッグを下げておいて、コンビニに買い物に行くときにビニール袋を使わないようにしている。

自動販売機にペットボトルを置かない。

アディダス自体は靴やウェアなどにポリエステルなどの化学製品を使っているの、ほかの手法で貢献する（もちろん製品の回収やリサイクルは行う）。

【Day2 本会議】

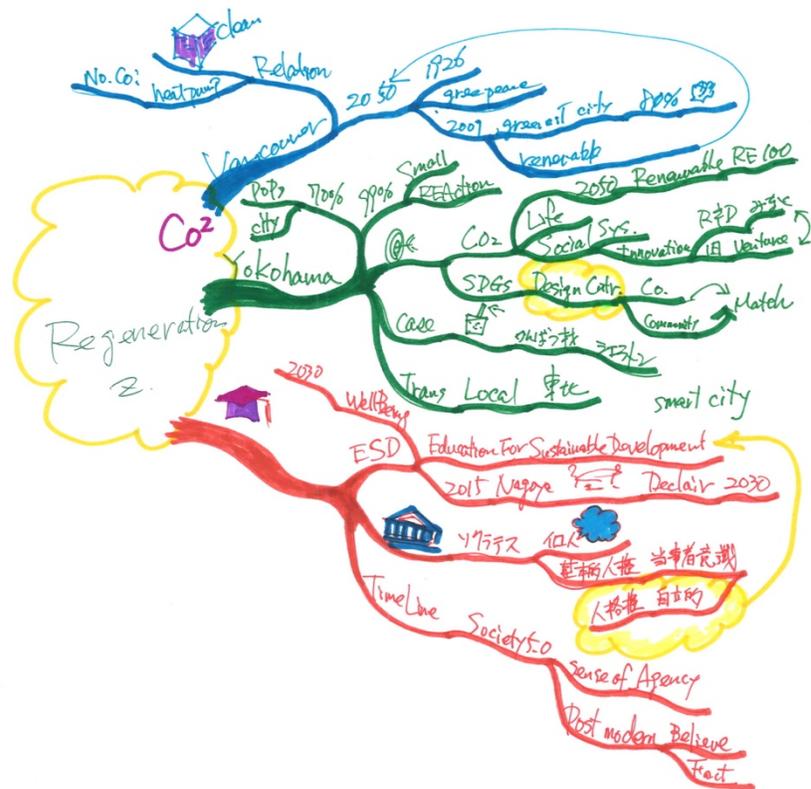
パタゴニアの本社社長 ブリジストン社長のプレゼン

Collective Impact

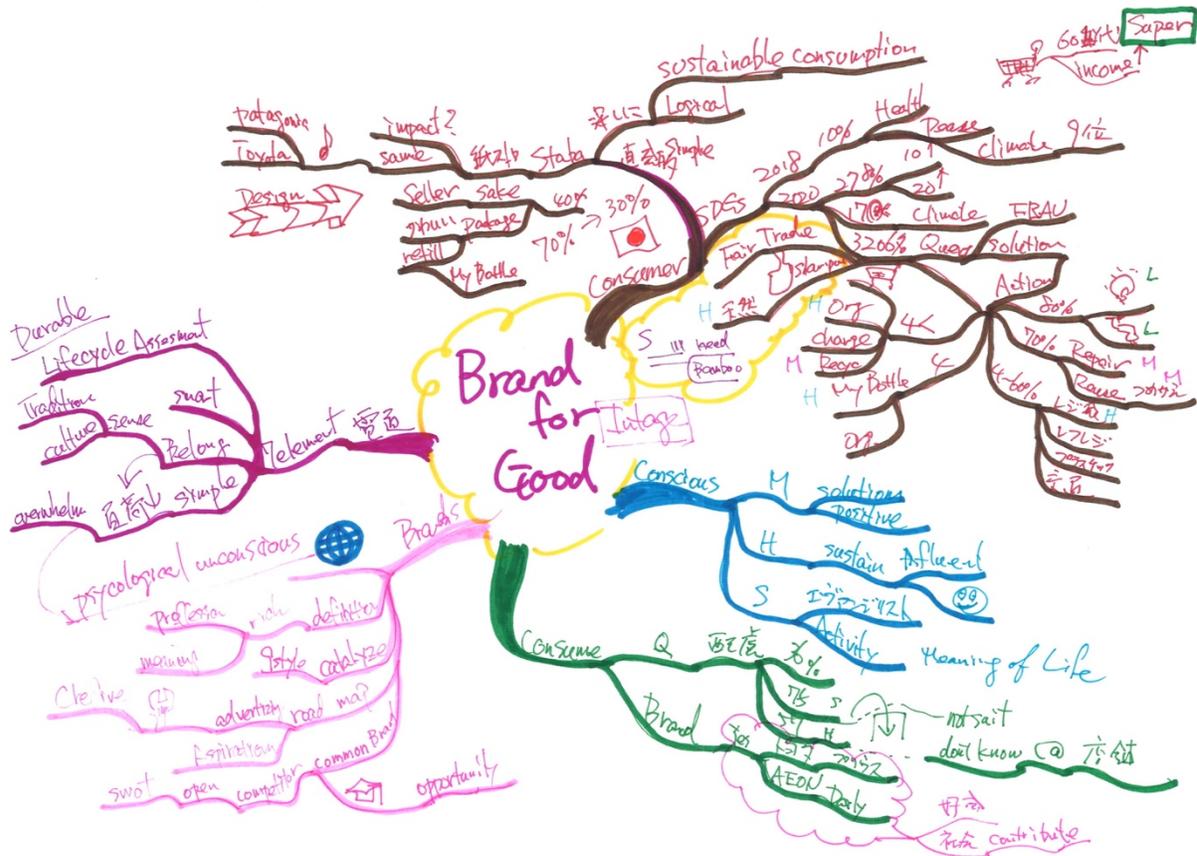
消費者の70%はSBに理解を示しているのに、その商品を購入している人は30%しかいない。どのようにして購入に導いていくか。

EAON、サントリー、アスクルの女性3人のパネルディスカッション（アスクルの消費者向けの商品開発でパッケージをできるだけ目立たなくすることで、エコイメージを出す。無印商品の感じ）

日産（本社横浜）で今年の台風災害時でのリーフ（EV）で行ったプロジェクト。横浜市における企業や東北の自治体との連携（カーボンオフセットのような展開）



日本の広報は論理的なものが多い。欧米では直感的シンプルな内容で展開している。



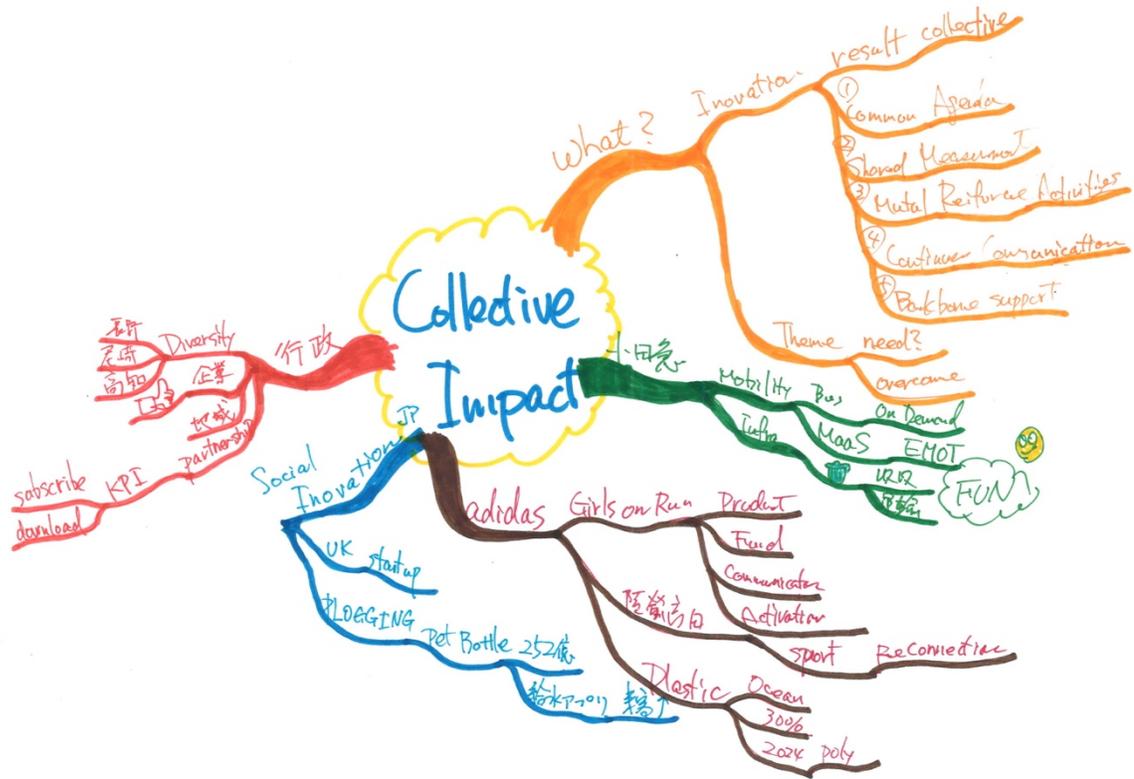
【Collective Impact】

期待して受講しましたが、ちょっと期待外れ

小田急 鉄道沿線での産業ゴミ処理の課題（飲食業で新規開業しようとしてもゴミ処理業社が見つからない）。小田急自体がゴミ回収事業に参入して、同業の処理業社と連携して問題を解決している。

ファシリテーターより推進する前提条件として

1. Common Agenda
2. Shared Agenda
3. Mutual Reinforce Activities
4. Continuing Communication
5. Backbone Support



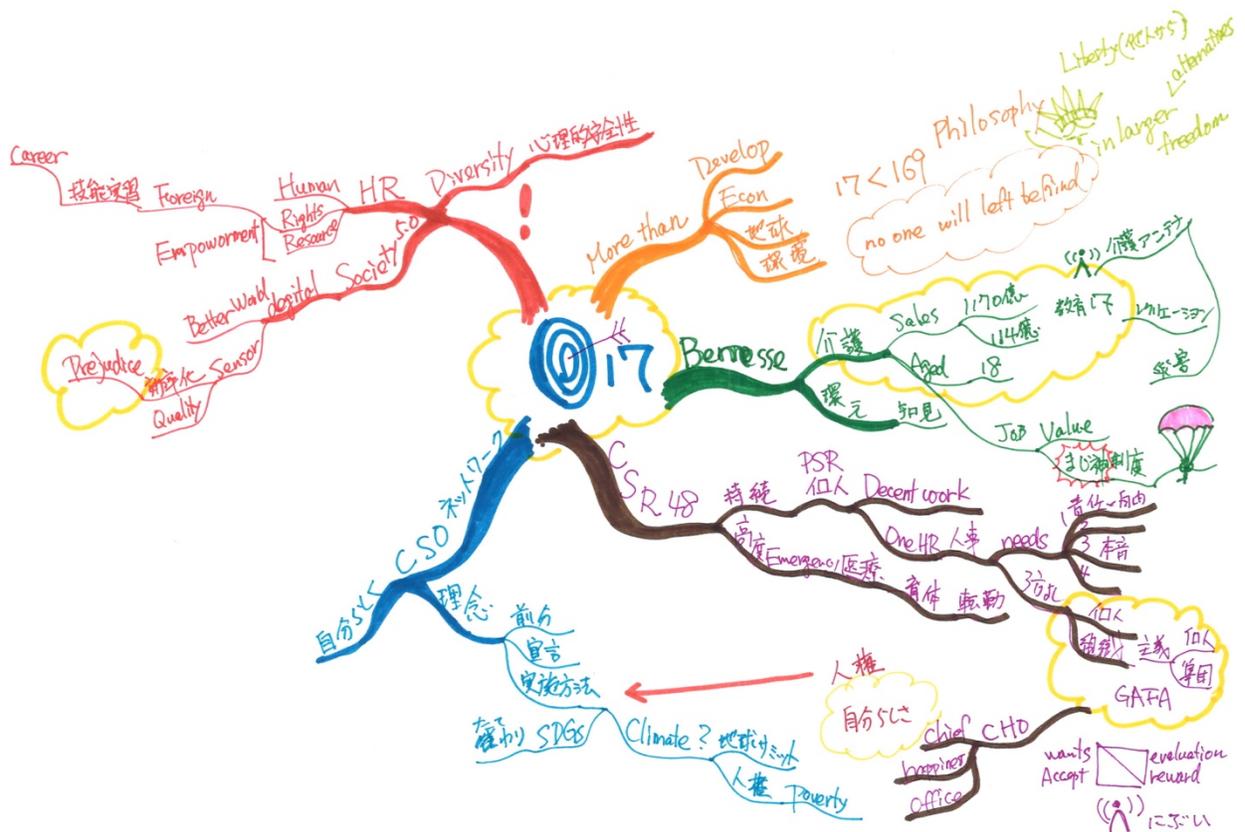
【SDGs は 17 のゴールだけでいいのか】

左翼の活動家の集会みたいで閉口しました。

最初に 17 のゴールの中に少子高齢化や LGBT のことが入っていない。

AI やロボット、IoT 社会を企業が展開していこうとしていることと、機械だけでは解決できない問題がある。

例えば介護事業で、対象者の動きをセンサーで管理しようとしているが、まだ完全ではないしセンサーが感じて誤りのことが多く、介護士の負担が多くなっている。



【最後に】

従来から大企業の対象部署の参加者が多くて、はたして社会課題の解決に繋がっているのかが疑問。

横浜市の担当部署の人が、横浜において99%が中小企業で構成されている。この部分への啓蒙と取り組む体型を作っていくことが大切。

大企業はスポンサーとして大切かもしれないが、個々人が本気で持続的に取り組もうとしているのかは疑問であるし、社会課題の解決に大きな動きにはなっていないと考える。社会課題に対して肯定的な行動をしているレベル